

授業科目 視覚機能学実習 IV

【担当教員名】 江崎 秀子 他		対象学年	3	対象学科	視機
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	90
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 傷害の部位局位や種々の眼疾患（主に斜視・弱視や視神経疾患）における病態理解を深めるとともに、自然経過や治療・訓練前後での視機能の変化を科学的に分析できることを目的とする。少人数で実習し、データについての考察を課し実習内容の理解度の評価を行なう。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-5 6-10 11-15 16-18 19-21 22-25 26-30 31 32-33 34-36 37-41 42-45	視力検査 視野検査 屈折検査 調節検査 両眼視機能検査 斜視検査 眼位検査 眼圧検査・超音波検査 角膜内皮検査 コントラスト感度検査 フリッカー検査、眼底写真撮影検査 まとめ、復習				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学第2版	丸尾敏夫 他	文光堂	2011・18,900円＋税
		眼科検査法ハンドブック第4版	小口芳久 他	医学書院	23,100円
参考書					
その他の資料		適宜、プリントを配布する。			
【評価方法】 定期試験、実習記録ノート、授業態度、提出物を総合して評価する。			【履修上の留意点】 班別を実施するため別途予定表を配布する。		